

いずも I Z U M O 市議会だより

2013.8.20

No.33

編集／広報委員会
発行／出雲市議会

新体制スタート!!



坂根 守議長



福代秀洋副議長



総務委員会



文教厚生委員会



環境経済委員会



建設水道委員会

○正副議長あいさつ……………	2	○請願・陳情……………	7	○採決の結果……………	26
○新議会の体制……………	3	○施政方針質問……………	8	○議会活動・編集後記……………	28
○議会の動き……………	4	○一般質問……………	12		
○委員会報告……………	5	○議員紹介……………	22		

新体制 決まる

4月30日、5月1日の両日、臨時市議会を開催し、正副議長選挙の結果、議長に坂根守議員、副議長に福代秀洋議員を選出したほか、出雲市監査委員に川上幸博議員を選任しました。また、各常任委員会、議会運営委員会、予算特別委員会のメンバーが決まりました。5月31日の定例市議会において、4つの特別委員会を設置し、委員を決定しました。

正副議長就任あいさつ



議長 坂根 守

は、依然として極めて厳しい状況が続いています。そのような中で、財政の健全化に向けて積極的に取り組むとともに、出雲の未来を担う子どもたちの健全な育成や少子化への対策、高齢化などに対する医療・福祉、さらに環境防災対策などを着実に推進していかなければなりません。

平成25年4月30日に開催された出雲市議会臨時会におきまして、多くの議員の皆さまにご推挙いただき、第5代議長の重責を務めさせていただきます。私自身、身に余る光栄に存じますとともに、その責任の重さをひしひしと感じている次第であります。一昨年の10月に斐川町との合併も実現し、この恵まれた出雲平野において地域性を十分に発揮しつつ、17万5千人の市民が一体となり、さらに発展していかなければなりません。さて、地方分権の推進など本市を取り巻く環境が大きく変わりつつある中、市の財政

私たちが市議会は、地方自治体の権限や役割が拡大する中、二元代表制の一翼として、自治体の意思決定や執行の監視・評価機能だけにとどまらず、議会の政策形成機能を十分に発揮していくため、議員一人一人が自己研さんに努め、市民の皆さまにより一層信頼される議会を目指してまいります。市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



副議長 福代 秀洋

このたび、副議長を務めることになりました。議会の活性化と市政発展のため、議長を補佐し、副議長としての職責を全うしていきたいと考えています。新出雲市が誕生して8年、斐川町の合併から1年半がたちました。いま、出雲市はその力量を試されるときにきています。財政状況は決して楽なものではありませんが、合併効果を最大限に発揮し、安定と繁栄への歩みを確かなものにしていかねばなりません。いうまでもなく、私たち出雲市議会が負う責任は、大変重いものです。二元代表制の一翼を担う議会としての

役割をしっかりと果たさなければなりません。執行部との緊張感を堅持し、チエック機能を十分発揮していくことが一義的には大切だと考えています。それと同時に、車の両輪に例えられるように、執行部との信頼関係を醸成し、協力しながら力強く市政をリードしていかなければなりません。そのためには、議員の情報収集・政策検討能力を十分に発揮できる環境を構築し、議事・議決機関としてさらに洗練された議会への進化を続ける必要があると考えています。

更なる進化を目指す出雲市議会に対しまして、ご意見ご質問をお寄せいただきませうよろしくお願い申し上げます。

常任委員会・議会運営委員会・特別委員会 委員名簿

◎…委員長 ○…副委員長

平成25年（2013）5月31日現在

常任委員会

総務委員会（8名）

◎飯塚 俊之 ○遠藤 力一 岸 道三
湯浅 啓史 小村 吉一 多々納剛人
宮本 享 長廻 利行

文教厚生委員会（8名）

◎板倉 明弘 ○保科 孝充 寺本 淳一
大国 陽介 川上 幸博 福代 秀洋
勝部 順子 米山 広志

環境経済委員会（8名）

◎板垣 成二 ○大場 利信 大谷 良治
神門 至 福島 孝雄 原 正雄
萬代 輝正 坂根 守

建設水道委員会（8名）

◎板倉 一郎 ○伊藤 繁満 渡部 勝
井原 優 松村 豪人 山代 裕始
古福 康雅 珍部 全吾



委員会の様子



島根原子力発電所への視察

議会運営委員会 (11名)

◎多々納剛人 ○松村 豪人 大谷 良治 原 正雄
大場 利信 伊藤 繁満 飯塚 俊之 大国 陽介
遠藤 力一 米山 広志 古福 康雅

特別委員会

総合交通対策 特別委員会（8名）

◎山代 裕始 ○伊藤 繁満 大谷 良治 福島 孝雄
保科 孝充 多々納剛人 福代 秀洋 珍部 全吾

観光・企業支援調査 特別委員会（8名）

◎川上 幸博 ○松村 豪人 神門 至 板垣 成二
大国 陽介 勝部 順子 宮本 享 古福 康雅

原子力発電・ 新エネルギー調査 特別委員会（8名）

◎長廻 利行 ○板倉 一郎 岸 道三 寺本 淳一
原 正雄 小村 吉一 坂根 守 板倉 明弘

行財政改革 特別委員会（8名）

◎萬代 輝正 ○遠藤 力一 湯浅 啓史 渡部 勝
大場 利信 井原 優 飯塚 俊之 米山 広志

予算特別委員会（15名）

◎勝部 順子 ○保科 孝充 岸 道三 湯浅 啓史
寺本 淳一 原 正雄 大場 利信 飯塚 俊之
板垣 成二 大国 陽介 板倉 一郎 多々納剛人
板倉 明弘 古福 康雅 珍部 全吾

平成25年度 第1回出雲市議会（臨時会）会期日程

開会 平成25年(2013) 4月30日(火)

閉会 平成25年(2013) 5月1日(水)

会期2日間

4月30日(火) 本会議（開会、正副議長選挙、議案上程・説明、採決）

5月1日(水) 本会議（委員長報告、討論、採決、閉会）、予算特別委員会

臨時市議会 報告

5月1日の臨時市議会では、「出雲市副市長の選任」などの人事案件3件と、「平成24年度(2012)出雲市一般会計第8回補正予算」の専決処分の承認についてが提案され、すべての議案について、原案のとおり可決または承認しました。

また、議員から「出雲市議会委員会条例の一部を改正する条例」を提出し、原案のとおり可決するとともに、出雲市農業委員会委員3名の推薦を行いました。

平成25年度 第2回出雲市議会（定例会）会期日程

開会 平成25年(2013) 5月27日(月)

閉会 平成25年(2013) 6月25日(火)

会期30日間

5月27日(月) 本会議（開会、施政方針表明、議案上程・説明、採決）

5月30日(木) 本会議（施政方針質問・1日目）

5月31日(金) 本会議（施政方針質問・2日目）

6月7日(金) 本会議（一般質問・1日目）

6月10日(月) 本会議（一般質問・2日目）

6月11日(火) 本会議（一般質問・3日目、議案質疑、委員会付託）

6月13日(木) 総務委員会

6月14日(金) 文教厚生委員会

6月17日(月) 環境経済委員会

6月18日(火) 建設水道委員会

6月19日(水) 予算特別委員会

6月20日(木) 予算特別委員会

6月25日(火) 本会議（委員長報告、討論、採決、閉会）

6月定例市議会 報告

6月定例市議会では、市長から施政方針表明がされるとともに、「平成25年度(2013)出雲市一般会計第2回補正予算」など予算3件、「出雲市行財政改革審議会条例の一部を改正する条例」など条例8件、「市道路線の廃止について」など一般案件5件、「出雲市監査委員の選任」など人事案件5件が提案され、すべての議案について、原案のとおり可決または同意しました。

また、出雲市斐川町農業委員会委員2名の推薦を行いました。

付託案件に対する

委員会・特別委員会報告

総務委員会

行財政改革審議会を常設型に

「出雲市行財政改革審議会条例の一部を改正する条例」は、行財政改革の更なる推進にあたり、出雲市行財政改革審議会を常設型にするなど、その機能を大幅に強化するため、所要の条例改正を行うものです。

具体的には、今までどおり市長の諮問に対し答申することに加えて、行財政改革実施計画の進行管理や事務事業評価についても所管事務となります。審査の結果、原案のとおり可決しました。

なお、一部の委員から、審議会は

行政が行財政改革を進めることを正当化するためのものであることと、議員が審議会の委員になることは二元代表制の点から問題があること、また市から補助金を受けている団体からの委員選出について、利害関係などのガイドラインがないことなどを理由に、否決すべきとの意見がありました。

原案は可決しましたが、指摘事項に対し、市長はじめ執行部が、どのように対処するかが重要で、今回の条例改正が実効性の上がるものになるよう注視していきたいと思えます。

文教厚生委員会

乳幼児医療費助成制度を拡充し、窓口負担を中学校卒業まで無料にすることを求める請願は不採択

請願第2号は、子育ての経済的な負担、とりわけ医療費の窓

口負担を軽減し、安心して医療機関にかかれる態勢を整えるた



め、乳幼児医療費助成制度を拡充し、医療費の窓口負担を中学校卒業まで無料にすることを求めるものです。

本市の制度は、3歳未満までは無料、小学校入学前までは、通院は千円の負担、入院は2千円の負担、薬代は無料となっています。中学校卒業まですべて無料にすることになれば、約5億6千万円の新たな市の負担が必要となるとの執行部側からの説明を受けました。

環境経済委員会

神戸川・来島ダムからの分水中止をを求める請願を趣旨採択

審査の付託を受けた条例案件、一般案件の計3件は、可決すべきものと決定しました。

次に「神戸川・来島ダムからの分水を中止し、豊かな森の水を湖と海に返すことを求める請願」については、現地を視察し、請願者から説明を受け、慎重に審査をしました。

視察先の現状は非常に憂うべき状況であり、請願者の皆さんの思いを重く受け止め、一日も早い原因究明と対策が必要であるとの認識を共有しました。



外園海岸で請願者から話を聞く

しかし、請願の中であげられている大社湾周辺での砂の堆積・飛砂被害、外園海岸における大規模な海岸浸食、漁獲量の減少など、6点にわたって述べられている被害の原因が、すべて「分水による流量不足と貯水による水質悪化によ

るもの」とは判断できないなどの理由で、趣旨採択すべきものと決定しました。
 なお、一部の委員から、河川法の精神に基づき、分水中止は当然であるとの理由から、採択すべきとの意見がありました。

建設水道委員会

庄原小学校付近の通学路の歩道を整備し、安全の確保を求める請願を採択

請願第4号「庄原小学校付近の通学路の歩道を整備し、児童生徒及び周辺住民の安心・安全の確保を求める請願」については、庄原小学校に通う児童の通学路である斐川1558号線と斐川382号線の歩道の整備を求めるものであります。

現地視察を行い、請願者から説明を受け慎重に審査した結果、本請願は採択すべきものと決定いたしました。

なお、児童の安全・安心を最優先に考え、地元の意向を十分に聞きながら整備を進めてほしいとの意見がありました。

議第17号市道路線の廃止については、イオン出雲店増床計画に伴い、周辺道路の機能増強が見込まれ、隣接地所有者や地元関係者な



請願者から説明を受ける建設水道委員

どの路線廃止に係る同意が得られたことから、四絡148号線を廃止するため議会の議決を求めるものであります。

審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。
 なお、一部委員から否決すべき

との意見がありました。

予算特別委員会

和文化交流センター（仮称）の設計予算に多数の意見

予算特別委員会に付託を受けた一般会計及び特別会計補正予算の3案件について、6月19日・20日の2日間にわたり委員会を開催しました。

委員会では、予算の編成方針や市の財政状況など総括的な視点や、各予算の詳細にいたるまで、多岐にわたって質疑を行い、審査を行いました。

今回の補正は、『出雲未来図』の実現に向けて取り組む戦略プロジェクトの各種施策を中心として編成され、一般会計補正予算では、11億6500万円を追加し、総額を737億1500万円とするものです。

審査の結果、原案のとおり可決しました。

また、特別会計についても審査し、いずれも原案のとおり可決しました。

なお、各委員から意見や指摘がありました。主なものを紹介しま

す。

一般会計予算については、行財政改革のもと市民に負担を強いる一方で、塩冶町にある旧宍道邸を改修し、新たな施設として和文化交流センター（仮称）とする実施設計費の予算には反対との意見や、設計費の予算は認めるものの事業全体経費が明確になった時点で、その実施については、十分に検討すべきとの意見が多数ありました。また、特別会計予算では、簡易水道の上水道統合整備は、今後上水道使用料金の値上げにつながるとして、反対であるとの意見がありました。

執行部に対しては、委員会での指摘・意見を十二分に踏まえ、適切な予算執行にあたられるよう要望しました。

請願・陳情の審議結果

【請願】

番号	件名	提出者	審議結果
1	「消費税増税に反対する」意見書の採択を求める請願	出雲市白枝町 出雲民主商工会 会長 金山 政史	不採択 に 賛成多数
	なぜ不採択	安定的な社会保障を実現するためには将来にわたり安定的な財源確保が必要であり、消費税増税はやむを得ないことであるため。	
2	乳幼児医療費助成制度を拡充し、窓口負担を中学校卒業まで無料にすることを求める請願	出雲市古志町 新日本婦人の会 出雲支部 支部長 景山 祐子	不採択 に 賛成多数
	なぜ不採択	子育て支援については、子育てに関する福祉について総合的に検討を行い、すべての支援策を充実させていくべきであり、乳幼児医療費制度のみ充実させるということは不相当であること、また、中学校卒業まで医療費を無料化にするという線引きについては、市の財政面、あるいは医療費の本人負担のバランスから考えて、適当でないため。	
3	神戸川・来島ダムからの分水を中止し、豊かな森の水を湖と海に返すことを求める請願	出雲市大社町杵築北 大社湾・神戸川水利対策協議会 会長 杉谷 寿之	趣旨採択 に 全員賛成
4	荘原小学校付近の通学路（市道斐川1558号線及び382号線）の歩道を整備し、児童生徒及び周辺住民の安心・安全の確保を求める請願	出雲市斐川町荘原 荘原地区自治協会长 竹田 勲 他3名	採 択 に 全員賛成

【陳情】

番号	件名	提出者	審議結果
1	自治基本条例制定に関し慎重な審議を求める陳情	出雲市塩冶町 出雲市自治基本条例を考える市民の会 代表者 松谷 仁造	継続審査 に 賛成多数
	なぜ継続審査	現時点では条例が提案されておらず、本陳情については今後継続的に審議すべきであるため。	

請願・陳情のご案内

請願・陳情は、皆さんの意見・要望を市政に反映させる重要な制度です。この制度によりどなたでも、市議会に直接要望することができます。

請願は出雲市議会議員が1名以上紹介議員となることが必要で、陳情は必要ありません。

請願と陳情の審査は、基本的に同じ取り扱いとし、所管の常任委員会で審査した後に、本会議で結論を出します。（ただし、国などへ意見書を提出してほしい場合は、請願のみ受け付けることとしています。）

定例会ごとに提出締切があります。詳細は議会事務局議事係（TEL 21-6579）にお尋ねください。

施政方針について 各会派が問う！！



6月定例会では、会派に所属する議員が市長の施政方針について代表質問を行いました。会派が選んだ項目（◎印のもの）について掲載しています。なお、原稿は質問を行った会派が要旨をまとめたものです。

真誠クラブ 飯塚 俊之

◎所信について

- 市政の基本方針について
- 雇用創出20000人プロジェクト
- 定住人口キープ17万人プロジェクト
- 交流人口10000万人プロジェクト
- 住みやすさNo.1プロジェクト
- 今後の取り組み
- 結び

長岡市政2期目の決意を伺う

問

この度、出雲市政は再び長岡市長に託されました。選挙にあたり市長は、1期目は合併時の積み残し事業への対応も必要であったが、2期目はそれらを整理し、大胆に市政運営をしていくと訴えられたようです。そこで、2期目の市政運営にあたり、次の点を伺います。

- ① 長岡市政2期目の特色
- ② 1期目に積み残した課題
- ③ 総人件費抑制に向けた取り組み
- ④ 信頼される市役所になるため、職員に求めるもの

市長

① 持続可能で安定的な市政を、次の世代へ渡していくため、
 ・ 徹底した情報公開と開かれた市政の推進
 ・ 徹底した行財政改革
 ・ 産業振興と雇用の確保
 をしっかりと行うことです。

② 自治基本条例の制定、都市計画税の対応、雇用促進住宅の取

り扱い、島根原子力発電所にかかる安全協定の締結などです。

③ 職員数は、削減目標人員から更なる抑制を図っていく必要があります。職員給与は、職員の理解を得ながら、早期に全職員を対象とした給与縮減策を具体的に決めていきます。

④ 常日頃より、それぞれの目と耳、そして心を行政の内に向けてるのではなく、正面から市民に向き合うことや、市民に分かりやすく、スピード感を持って、笑顔で心を込めた対応をお願いしています。



政雲クラブ 板倉 明弘

- ◎市政の基本方針の中から開かれた市政の更なる推進と財政の健全化について
- 主要施策について
- 主要事業について
- 1期目から継続した課題について

常設型の住民投票条例は、必要なのか



問 自治基本条例は、平成24年2月に原案が公表された後にも、その内容について市民の皆さま、また全国からも反対する陳情などが出されています。その年の4月には、市民懇話会や条例検討会が条例によらず、要綱で設置されたことは違法であるとして、市民から住民監査請求が提出され、監査の結果、「この2つの会は附属機関に該当するので、要綱による設置は違法である。違法に設置された附属機関の運営のための公金支出もすべて違法である。しかし、公金は役務の対価として支出されたので損害は生じていない。よって損害賠償請求は、棄却する」との結論が出ています。この決定に対し、不服とし住民訴訟を提起され、現在も係争中となっています。市長は、どのような手順・方法をとって、市民の理解をいただくのか伺います。

市長

この条例の制定については、多くの皆さまに賛同していただける形でなければ、本来の機能、目的を達成することができないと思っております。これまでの経過、条例の趣旨などを改めて丁寧に説明させていただき、まずは、議会の議員の皆さまに議論を深めていただきたい、そこから始めてまいりたいと考えています。



市民の会 米山 広志

- 開かれた市政の更なる推進
- 常設型の行財政改革審議会
- 少子高齢化と過疎対策
- (仮称)出雲子ども観光大使
- ◎教育行政
- 可燃ごみ処理施設の整備

学校給食の安全、安心対策と食品・食材の地元産の使用は



問 学校給食の安全、安心対策と食品・食材の地元産の積極的な使用の具体策を伺います。

市長

本年4月、5月に発生しました異物混入事故に対しての対応に不備があったことについて、おわび申しあげます。今回の事故を踏まえて、従来の異物混入対応マニュアルを見直し、より迅速な対応ができるように改めました。給食センターが取り扱う毎日の給食食材は、納品時検査において、食材ごとに品質、鮮度、品温、産地確認などの点検を行っています。加工品は、製造工程表、内容成分表、牛肉はBSE、セシウム検査証明書等の提出を求め、安全を確認しています。

問

今回の事故は、ケーキの納入業者が鹿児島なので驚いています。加工品に対する従来のチェックと今後の考えを伺います。

教育長

加工品のチェックは非常に難しい面がありますが、点検できるものについては、給食センターでも点検をしていきたいと考えています。

出雲市の学校給食の平成24年度の地元産食材使用割合は、食材数ベース、品目数で約36%です。米は100%、牛乳・乳製



出雲学校給食センター（出雲市長浜町）

平成クラブ 宮本 享

- 2期目の市政運営について
- ◎ 縁結びプロジェクトについて
- 観光誘客の推進について
- スポーツ振興について

縁結びプロジェクトについて伺う



問

平成22年の国勢調査の結果、少子化の傾向が顕著です。その一因であろう未婚化、晩婚化について次の3点をお伺いします。

- ① 出雲市における未婚化、晩婚化の状況
- ② 結婚支援への具体的な取り組み
- ③ 「縁結びの地 出雲」というブランドをメディアとうまく連携し、活性化させる方策

市長

① 同調査の結果、未婚率は30代前半男性で約43%、20代後半女性で53%となっています。また30代、40代の男性女性の未婚率は10年間でそれぞれ8%、7%ずつ増えています。このことにより30代にも視点を置いた結婚支援が必要かと考えています。

② 市内で結婚支援活動を行っているボランティア団体、商工・農業団体などで構成する協議会の設立に向けて準備を進めています。この協議会ではそれぞれ

の団体の取り組みが効果的に進むよう、お互いに連携を図りながら、結婚支援活動に取り組みでいく考えです。

③ メディアの活用は市民一人ひとりの結婚への意識向上につながるものと考えています。テレビ番組を含むさまざまなメディアに取りあげていただければ、情報発信に努めてまいりたいと思っております。



男女の縁結びを応援します

公明党 勝部 順子

- 所信
- ◎ 財政の健全化
- 定住人口キープ17万人プロジェクト
- 交流人口1000万人プロジェクト
- 住みやすさNo.1プロジェクト

包括監査人の指摘にどう答える

問

24年度の包括外部監査結果報告書によると、市が出資する外郭団体15団体の定期預金などの余裕資金総額が約24億円余りある事が判明しました。市は、24年度末時点の市債残高は1370億300万円、23年度の未払い額は合計22億1400万円に達しています。

一方で、外郭団体及び多額の資金援助を行っている団体に、24億円余りの資金が定期預金などの形であります。であれば、市全体の資金計画の観点から、外郭団体などの余裕資金を市に取り入れ、生かす方法を考えるべきと指摘されています。市長の考えを伺います。

市長

外郭団体の余裕資金について、指摘を受けています。指摘のとおり、各団体が繰越利益剰余金、積立金などの資金を保有していますが、これらの資金の全てが純粋な余裕資金にあたる



とは考えていません。監査人の意向は、付加価値を生んでいない資金があることから、有効に活用してほしいとの趣旨です。これらを踏まえ、今後は資金の保有目的を明確化し、可能なものであれば、いわゆる剰余金について市への還元なども含めて、話し合っております。



24年度の報告書

日本共産党 大國 陽介

- 施政方針策定にあたっての市長の政治姿勢について
- 「市民が主役のまちづくり」について
- ◎ 「財政の健全化」について
- 「産業振興」のあり方について
- 「斐川中央工業団地」の新規造成計画は中止を
- 「原子力発電電について
- 「住宅リフォーム助成事業」について
- 「障がい者福祉」について
- 高齢者福祉について
- 住民合意のない「学校再編計画」は撤回を
- TPP、アベノミクス、消費増税について



過去の失政に反省し、市民の立場で自治体運営を

問 市長も認めているとおり、極めて厳しい財政状況の原因は、過去の過大な公共投資にあります。過去の失政を正当化して開き直るのではなく、まずは誤りを素直に認めることが肝要であり、反省がなければ同じ失敗の繰り返しになりかねません。

また、選択と集中、受益者負担の適正化、公平性の確保などと言って、財政難のツケを市民に負わせ、福祉サービスを削減するようにはあつてはなりません。財政再建は、市民のくらしと福祉を守る立場で進めなければならぬと考えますが、市長の認識を伺います。

市長 これまでの社会基盤の整備は決して無駄なことだったとは考えていません。市民生活の利便

性、環境が格段に向上したことは事実ですし、商工業事業者の立地など経済活動を促進するうえで環境整備が大幅に進んだことは事実です。

財政健全化に向けて市民の日々のくらしを守ることは重要なことですが、あれもこれもができる状況に無いことは確かです。選択と集中によって最小の経費で最大の効果を得られるよう、将来にわたって安定・持続可能な運営ができるような自治体に生まれ変わっていく必要があると考えています。



大社クラブ 長廻 利行

◎ 交流人口1000万人プロジェクトについて

ポスト遷宮の観光振興策と大社門前町整備について伺う



問 4つのプロジェクトの一つである「交流人口1000万人」達成の手ごたえを感じられたのか、来年度以降どのような目標を持って取り組まれるのか伺います。

また、神門通り周辺の整備は着実に進んでいます。その成果をどのように評価しておられるのか、さらにご縁広場周辺の整備について、今後の整備の見込みと、民間提案も含めた吉兆館の再編整備の進め方について伺います。

市長 平成25年度で1000万人を超える手ごたえを感じています。今後、交流人口1000万人を継続していくことが重要であり、引き続き観光誘客につながる諸施策に取り組んでいきます。来年度以降も、交流人口1000万人の定着を目標に取り組んでいきます。出雲大社以外の観光スポットも紹介しながら、長時間周遊してもらえ

うに情報発信していきます。大社門前町の整備については、今後もハード・ソフト両面から統一的で一体感のある取り組みが必要と考えています。神門通りの整備についても、早期の完成に向けて、県とともに進めていきます。また、吉兆館周辺整備については、源泉の活用のほか、滞留性の拡大と宿泊客の増加につなげるという視点も加えて、引き続き利用策を検討していきます。



観光客でにぎわう神門通り

市政のここが聞きたい 一般質問

6月定例会市議会では20人の議員がそれぞれ以下の項目について質問を行いました。1人1問ずつ選んで（◎印のもの）掲載しています。なお、原稿は質問した議員自身が要旨をまとめたものです。

山代裕始 議員 (13ページ)

- ・選挙制度のあり方
- ◎高齢者の移動手段の確保について

大場利信 議員 (13ページ)

- ・行財政改革と事務事業の見直しについて
- ・今後のコミュニティセンターの在り方について
- ・(仮称) 斐川中央工業団地への企業誘致活動について
- ◎出雲いりすの丘公園の再生について

原 正雄 議員 (14ページ)

- ◎神戸川再生について

遠藤力一 議員 (14ページ)

- ・地域優良賃貸住宅制度について
- ・シェイクアウト訓練（地震避難訓練）の実施について
- ◎障害者優先調達推進法について

渡部 勝 議員 (15ページ)

- ・出雲市の財政について
- ・出雲市松くい虫防除対策基本方針について
- ◎臓器移植ドナーカードの普及について

福島孝雄 議員 (15ページ)

- ・今後4年間の市政の取組みについて
- ・自治会未加入世帯（高齢者・障がい者世帯）の防災対策について
- ◎学校の施設環境について
- ・出雲市「人・農地プラン」の取組みについて
- ・期日前投票の推進について

大谷良治 議員 (16ページ)

- ・中小企業の振興について
- ・宍道湖シジミ資源回復について
- ・一畑電車への利用促進について
- ◎商店街再生・空き店対策

多々納剛人 議員 (16ページ)

- ◎地産地消の推進を

小村吉一 議員 (17ページ)

- ◎「水道供給停止の予告について（文書）」を問う
- ・不登校児童・生徒の現状と対策を問う
- ・燃料の高騰による漁業者への影響とその対策は
- ・平田生活バスの一部路線の廃止及び休日便の全廃について問う

神門 至 議員 (17ページ)

- ◎大規模災害などに備えた防災対策について
- ・斐伊川及び神戸川河川橋の安全対策について
- ・通学路の安全対策について
- ・学校給食における県外の食材と地産地消について
- ・出雲市の有害鳥獣対策について

板倉一郎 議員 (18ページ)

- ◎市の印刷物の改善について
- ・身体障がい者等駐車場の適正管理について

保科孝充 議員 (18ページ)

- ・地域の活性化は支所機能組織の充実・元気から
- ◎「水は命」とする農業用水・防火用水の確保について問う

伊藤繁満 議員 (19ページ)

- ◎企業誘致の促進と支援策について
- ・循環型社会形成への取組みについて

珍部全吾 議員

- ・今後四年間の市長の政治姿勢について
- ・議会ごとに変わる旧宍道邸の計画について

松村豪人 議員 (19ページ)

- ・漁業用燃油の高騰について
- ◎新出雲風力発電について
- ・市立総合医療センターの役割を問う

井原 優 議員 (20ページ)

- ◎国民健康保険について
- ・中学校卒業までの医療費の無料化をめざすとともに、小学校卒業までの無料化の早期実現を求める

萬代輝正 議員 (20ページ)

- ◎行財政改革の検証と今後の進め方
- ・スポーツ振興のための寄附の窓口創設を

寺本淳一 議員 (20ページ)

- ◎児童生徒が安心して学べる学校づくりについて
- ・長期優良住宅について
- ・新卒者の雇用対策について

岸 道三 議員 (21ページ)

- ・事務事業の精査・見直しについて
- ◎公契約における労働環境などの実態調査について
- ・ふるさと教育の充実について

川上幸博 議員 (21ページ)

- ・農業6次産業化に対する取り組みと課題
- ◎学校給食における食物アレルギー対策について



高齢者の移動手段の確保を

山代 裕始

問

高齢者にとって、バスなどの移動手段の確保は、日常生活を営んでいくうえで、切実な問題です。

福祉バスなどの高齢者に対する交通施策の状況と今後の市の方針について伺います。

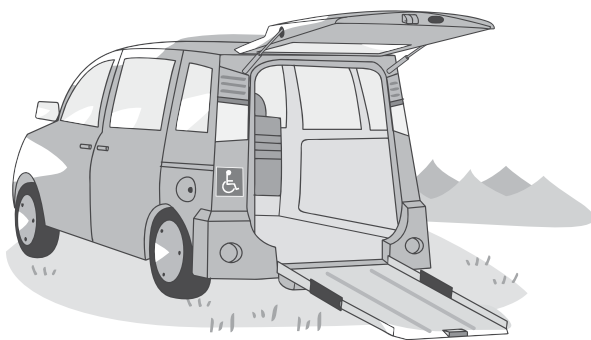
健康福祉部長

本市では、福祉バス事業を出雲および湖陵地域で行い、高齢者外出支援事業を佐田・多伎・斐川地域で実施しています。

また、高齢者福祉タクシー事業は、高齢者外出支援事業を行っている出雲・平田・湖陵・大社地域を対象に実施しています。

さらに、古志地区南部、乙立地区で高齢者等外出支援試験運行事業を実施していますが、本格運行への移行については、利用状況などを見ながら判断したいと思います。

また、運行協議会が設立さ



れ、高齢者の外出支援も含めて議論がされている地域は、まとめられた方針を踏まえ、高齢者が利用しやすい持続可能な支援策を検討していきます。

問

広大な農業公園の活用方法について、何人かの議員が質問をしてきています。検討に時間を要する点は何ですか。

産業観光部長

約26haの広大な土地のほか、農業公園の導入当初の目的との整合性、補助金返還を防ぐこと、現在の指定管理者への影響、民間活力導入の可能性などです。

問

状況に応じ住民の方や団体の方から意見を伺うとのことでありましたが、意見を聞かれましたか。

産業観光部長

一定の方向性が出たところで、経営コンサル的な専門機関から意見や提案を受け、その後住民の方や団体から意見を伺うことしております。



出雲いりすの丘公園の早期の再生を

大場 利信

問

早期に再生案を示していただきたいが、いつごろ示されますか。

産業観光部長

実現性の高い再生案を策定するため、関係機関などの協議に相当な時間を要することが考えられ、現段階で明確な時期をお示しすることはできません。



再開が待たれる出雲いりすの丘公園



神戸川の再生を

原 正雄

問

中国電力は、神戸川上流に来島ダムを建設し、江の川に分水し潮発電所で発電をしています。この水利権の60年目の更新期限は本年3月末であり、2月28日に、国土交通大臣に対して手続がされています。国は島根県に、県は出雲市に水使用について意見が求められることとなります。

神戸川そのものの荒廃状況は著しく、また、大杜湾や外園海岸の浸食飛砂への影響、神西湖のヘドロの堆積状況などから、元のきれいな神戸川に戻していただきたいと、自治協会、漁協、JA農政会議などの各種団体をはじめ、流域住民が一丸となって水戻せ運動をしているところですが、

市長

昨年、県知事の要請で、専門的見地から検討を行う専門委員会が設置されました。また、本年3月から神戸川の潮発電所水利使用に関する調整会議が3回開催されています。沿川の皆さんが納得できる解決策を目指して協議をしていきます。



神戸川へ放水する来島ダム

問

障害者優先調達推進法は、4月1日に実施されました。障がい者就労施設や在宅で仕事をする障がい者の方々の経済面での自立推進をするために、国や地方公共団体などが物品やサービスを調達する際に、優先的・積極的に購入する制度です。

障がい者やその家族に期待されていますが、まだ当市では体制が整っておりません。体制の整備、そして、物品などの調達方針について伺います。

健康福祉部長

当市における障がい者就労施設などからの物品などの調達方針を策定するにあたり、障がい者就労施設などの取り扱い商品や提供可能な役務の実態調査を行い、業務内容の把握に努めました。

また各課に対し、法の趣旨および取り扱い業務の情報提供を



障害者優先調達推進法を 着実に実施せよ

遠藤 力一

行いました。

県の調達方針は、本年6月末に策定される予定で、市も、物品などの調達を推進するための目標を定めます。

今後障がい者就労施設などの受注の機会の拡大に配慮するよう努めてまいります。



障害者優先調達推進法のイメージ



臓器移植ドナーカードの普及の
取り組みと今後の市としての考えは

渡部 勝

問

重い病気などにより臓器移植を望んでいる人は、

全国で1万4千人でその大半が腎臓移植です。島根県では41人が希望され、市内では370名の人が人工透析をされています。市の取り組みと現状はどうなっているのか、今後の取り組みはどうなのか、ぜひ出雲市が日本一福祉に精通する市になってもらいたいと考えをお聞かせください。

健康福祉部長

現在「しまねまごころバンク」から依頼を受けて市役所などにリーフレットを置き啓発に努めています。今後はホームページなどで移植医療の適切な情報提供を行っていきます。また成人式やイベントなどにおいてもドナーカード付きのリーフレットを配布予定です。

市長

出雲市が先進的な取り組みが

できる市、また市民の皆さんに深い理解がいただける市であってほしいのは私も同じです。

【1. 2. 3. いずれかの番号を○で囲んでください。】

- 私は、脳死後及び心臓が停止した死後でも、移植の為に臓器を提供します。
- 私は、心臓が停止した死後に限り、移植の為に臓器を提供します。
- 私は、臓器を提供しません。

（1又は2を選んだ方で、提供したくない臓器があれば、Xをつけてください。）
【心臓・肺・肝臓・腎臓・脾臓・小腸・眼球】

（特記欄：）

署名年月日： 年 月 日

本人署名（自筆）： _____

家族署名（自筆）： _____



市役所の窓口においてあるドナーカード

問

① 斐川町の元荘原幼稚園跡の現状は荒廃も進み、

周りの環境も悪化しています。小学校に隣接しており、犯罪の危険性が高く、夏休みを前にして保護者の不安もあり早期の取り壊しを希望します。休みの期間中は昼、夜のパトロール（施設内、外）も願います。

② 放課後児童クラブについて、年々入会児童数が増え、施設が手狭になっており、活動に支障が出ています。施設の充実をお願いします。

教育部長

① 旧幼稚園跡地は、間もなく市が直接管理することになります。小学校と隣接していることもあり、児童の安全確保を最優先に早期解体できるよう調整いたします。樹木も適切に剪定、草刈など対処します。

② 国では平成27年度から「子ども・子育て支援新制度」の導入



子ども達の安心・安全のための
学校施設環境整備のお願い

福島 孝雄

を目指しており、現在の小学3年生から6年生までに拡大するとしていきます。今後計画的に施設の増改築などの整備をしてまいります。



旧荘原幼稚園跡（斐川町荘原）



将来的な中小企業への
積極的な支援施策を

大谷 良治

問

本市産業の振興にはものづくりに関わる製造業の振興が大きな柱になるものと考えておりますが、中小企業振興の自治体レベルの政策が重視されている中、さらなる地場産業のための積極的な支援強化が必要ではないか所見を伺います。

①ものづくり産業全体の振興を図るための今後の基本方針を伺います。

②ものづくり産業条例制定（仮称）の取り組みをする考えはありますか。

市長

地場産業がそれぞれの技術力・企業力を高めることによって景気変動に対応できる足腰の強い企業へ成長していくことが本市の産業を支える重要な礎（いしずえ）となると考えています。具体的には人材育成支援・企業間交流・信用保証料助成をしております。ご提案の条例制定において



写真はイメージです

は全国的な取り組みも承知しています。今後、分野ごとの条例の制定が必要であれば情勢変化を見極めながら判断していきたいと思っております。

問

「第2次出雲市食育のまちづくり推進計画」が、地産地消に果たす役割を伺います。

市長

基本方針に基づいた啓発事業により、地元産食材の普及、出雲ブランドの開発と普及、学校給食における地元産品の利用促進につながるかと考えます。

問

学校給食への地産地消の現状と推進策について伺います。

市長

米については全量市内産を使用し、牛乳や乳製品は8割以上、メロン、ブドウなどの果樹野菜も市内産を優先して使用しています。米粉パンの推進については学校給食地産地消ネットワーク会議で検討を進めます。

問

大社水産物地方卸売市場の運営状況と市内消費状況について伺います。



地産地消の推進を

多々納剛人

況について伺います。

市長

JFしまね大社支所管内での水揚金額は6億5千万円で、65パーセントが県内に卸され、その内半分が出雲市内で取引されています。また、地魚消費拡大事業を設けて、地産地消の推進を図っています。



水揚げされる大社湾の魚



上水道は市民の命綱

小村 吉一

問

斐川宍道水道企業団および本市の上下水道局は、「水道供給停止予告書」を水道料金未納者に送っています。その中に「給水を停止いたします」などの文言がありますが、その実態を伺います。

市長

昨年度、斐川宍道水道企業団が発送した「水道供給停止の予告」は、年3回のおおの140件程度で、給水停止を行った事例はありません。一方、本市の上下水道局では、毎月80件から200件程度発送し、毎月20件前後の給水停止を行っています。

問

水道は生活の命綱、いかなる理由があっても原則として停止するべきではないと思いますか。

市長

停止は、相談などいろいろな手だてを行った後やむを得ない

措置として行っています。

問

百歩譲って、停止後、水を持参するなど生活の保障を行っていますか。

上下水道局長

定期的に伺ったりして、フォローを相当の必要な部分行っています。



来原の水源地

問

市民の皆さまは、地震や津波などの災害時、どこへ避難したらよいのか不安を抱かれています。その不安を解消するため、ハザードマップの活用・周知の徹底や、今後、指定避難所などを建設する際には、避難用シェルターの設置などの対策に万全を期すべきと考えます。また、防災情報伝達システム整備事業などの緊急性を要する事業は、早期に取り組むべきと考えます。市長の見解を伺います。

市長

引き続き、ハザードマップの重要性や入手方法などの情報発信をしていきます。避難用シェルターは重要であると認識しており、国の中央防災会議での最終報告を受け、国や県、市の防災対策にどのように反映されていくか注視していきます。デジタル式防災行政無線の整備は、



大規模災害などに備えた防災対策を

神門 至

出雲南部の運用を開始したところですが、情報伝達手段については、海岸部を優先的にし、市内平野部へと早期に整備を進めていく考えです。

The infographic includes the following information:

- 最新情報の入手方法** (Latest Information Acquisition Method):
 - PC版: <http://www.bousai-shimizu.jp/>
 - スマートフォンアプリ: <http://www.bousai-shimizu.jp/m/>
 - QRコード
 - お問い合わせ: <http://sumocity.bousai.info/point/index.html>
- 緊急時の連絡方法** (Emergency Contact Method):
 - 1. 避難所へ避難する
 - 2. 避難所から連絡する
 - 3. 避難所から連絡する
 - 4. 避難所から連絡する
 - 5. 避難所から連絡する
- 出雲市 防災安全課** (Izumi City Disaster Safety Section):
 - 〒690-8530 島根県出雲市今市町70
 - TEL 21-6606 (代表) TEL 21-2211

防災ハザードマップ



わかりやすい印刷物を

板倉 一郎

問 市の印刷物は、情報の必要な方に対し、親しみやすさ、わかりやすさの点で欠けています。次の点について伺います。

①ユニバーサルデザイン(年齢、性別、障がいの有無など、人々のさまざまな特性の違いにかかわらず、全ての人が利用しやすい製品、建物、環境づくりを行う考え方)の視点を取り入れる考えがありますか。

②「広報いずも」の記事およびゴミ収集カレンダーの文字が小さく読みづらいとの意見があります。改善をされますか。

健康福祉部長

①ユニバーサルデザインの視点での作成は、望ましいと考えています。

②「広報いずも」について、編集方針および掲載基準を明文化し、だれでも読みやすい広報誌づくりを目指します。ごみ収集

カレンダーについて、大きい文字サイズを必要とされる方につきましても、数枚に分けて作成するなどの、個別な対応を検討したいと考えています。



文字の小さい記事は改善を



水は命とする農業用水の確保を

保科 孝充

問

下阿宮地区の農業用水は毎年この時期になると渇水状態になります。頻繁に施工される砂せきと昨年設置された取水ポンプ3台でかろうじて急場をしのいでいます。今年度予算で安定的・恒常的な水の確保に向けて調査費が計上されましたので、早く調査と早期工事の実施をお願いします。若い担い手も育っており、希望の持てる農業として支援してください。また、水の流れがゆるやかになっている汚泥の性質はどのようなものか伺います。

農林水産調整監

用水確保に向けて取水方法の内部検討をしています。斐伊川の中に水を寄せる「かま場」を設ける方式、地下水を集める井戸方式が考えられます。河川管理者の国土交通省の許可が得られる工法や、事業費の見込みが立てば、「農業農村整備事業計画」の中に組み入れ、実施について調整をしていきます。また、汚泥・浮遊物は、枯れ葉などのプランクトンが固まったもので水稲への影響は無いと考えています。



取水ポンプ3台でかろうじて農業用水が確保されている



企業誘致の促進と
支援策の充実強化を

伊藤 繁満

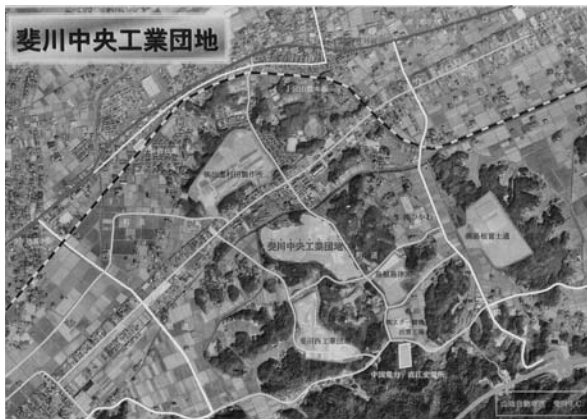
問

①市内にある誘致企業の
操業状況と雇用の現状に
ついて伺います。また、地元
に残り働きたいと切望されてい
る人は多いです。市内出身者の占
める割合と今春卒業された人の
市内就職率について伺います。

②社会資本整備状況が都市部と
比較し大きく立ち遅れている地
方において、企業誘致にかかる
立地促進条例の優遇制度の内容
を充実させることは極めて重要
であります。運用面と改善策に
ついて伺います。

市長

①県外からの誘致企業数は45社
で従業員数は約9600人で
す。そのなかで、斐川町にある
大手企業では約7割以上の方が
市内出身者であります。株式会
社JMSは700人のうち約9
割の方が市内出身者で、相当高
い比率で働いています。今春の
市内の高校卒業者の市内企業な



企業誘致が待たれる（仮称）斐川中央工業団地

どへの就職率は75%強です。
②平成24年に改定し上限額1億
円としたばかりで、今後の状況
を見定めていきたいと考えてい
ます。企業誘致、雇用対策は市
の重点施策として取り組みます。

問

新出雲風力発電所では、
当初、風車の作業用として
整備された道路は、いずれ市
道に移管し、地元のためにさま
ざまな用途に供する計画であつ
たと承知しています。その
後、一向に市道移管が進んでい
ません。当初の計画と今後の市道
移管のスケジュールを伺います。

産業観光部長

風車の作業用道路は平成18年
に要望を受け、市道認定基準に
適合した整備を条件に移管する
旨を回答しました。現在、市道
移管を検討している7・1キロ
メートルの区間のうち、十六島
から相代まで4・4キロメー
トルの区間、十六島側の進入口か
ら釜谷川までの約2・2キロ
メートルの区間については今年
度内の移管を目指し、事業者と
調整していきます。釜谷川から
相代川までの約2・2キロメー
トルの区間については、平成26



風力発電所の作業用道路の
市道移管は

松村 豪人

年度に地籍調査が完了する見込
みであるため、平成27年度以
降に移管を受けることにしてい
ます。



風車間を結ぶ作業用道路



国民健康保険料の値上げ・滞納者への制裁措置は中止を

井原 優

問

私たちの党が実施した市民アンケートでは、国民健康保険料の負担が重いとの回答が73%です。保険料の値上げをやめ、滞納世帯には親身に相談に乗り、保険証の取り上げや差し押さえは中止すべきと考えます。急激な収入減になった場合、国民健康保険法第44条による医療費の減免制度があります。利用状況をお聞きします。

健康福祉部長

国民健康保険料は、平成25年度は、基金3億円と繰越金1億円を投入して上げ幅を4%に抑えました。滞納世帯には柔軟な対応をおこなっていますが、現状の措置はやむを得ないと考えます。当市には、災害や急激な所得減の方に入院費を減額する制度がありますが、現在まで利用はありません。今後、通院も減免対象にできないか検討中です。



市役所保険年金課の窓口

問

長岡市政が誕生以来、喫緊の課題と位置づけられているのが「行財政改革」です。改選後の4年と言わず、短期間でスピード感のある改革を夢のある政策と共に断行する時期と考えますが、行財政改革への市長の対応を伺います。

市長

昨年12月に「出雲市財政計画」を策定し、今後10年間の方針を示し、これを踏まえ、本年度新たに「行財政改革大綱」を策定することとしました。



スピード感のある行財政改革を

萬代 輝正

それに併せてさらに行財政改革の推進を図るため、大綱の答申をいただく審議会を常設型にするなど、その機能を大幅に強化するための条例改正を今議会に上程したところです。

行財政改革審議会の役割を見直し、これまでの諮問に対しての答申ということに加え、実施計画の進行管理についてもその役割とし、開催日程、答申の時期などについては、条例可決後に具体的に詰めてまいります。



児童生徒が安心して学べる学校づくりを

寺本 淳一

問

近年、体罰や、いじめなどの問題が多数発生しています。文部科学省は「部活動

ガイドライン」を策定し、「学校におけるいじめ問題に関する基本的な知識とポイント」を発表

しましたが、本当にそれらが学校現場で有効に使えるものかは疑問が残ります。今後この問題に対し、早期発見、早期対応するためには何が必要か所見を伺います。

教育委員長

子どもたちが安心して学べる学校をつくることは、教育委員会に課せられた責務と考えます。いじめに関しては、フレンドシップ事業の支援や全ての教員が研修に参加し、指導力を高

める取り組みを実施してまいります。体罰に関しては、子どもの自尊心を高め目標設定を確立することが成長と強化の第一歩であり、指導者、児童生徒、保護者との相互信頼と綿密なコミュニケーションが欠かせません。地道な取り組みこそが、早期発見、早期対応への早道だと考えます。

出するよう指導し、提出されたところからです。

②今年度においても実態調査を実施する考えです。
③公契約条例を制定している地方公共団体は全国的にも少なく、国においても未制定です。国の動向、施策の内容などをみて、今後検討していく考えです。

公契約条例

受発注者の責任や公契約の下で働く人の適正な賃金水準、労働条件の確保を盛り込んだ条例。2009年、千葉県野田市で初めて制定されました。



公契約における適正な労働条件の確保を

岸 道二

問

厳しい財政状況を背景に公共工事や委託事業などにおいて低価格・低単価の契約・受注が増大しています。そのため労働者の賃金・労働条件の著しい低下を招くという問題が全国的に生じています。そこで、次の3点について伺います。
①昨年度実施された実態調査の内容と結果およびその対応

②今後の実態調査の継続的な実施の意向
③公契約条例制定の考え

財政部長

①昨年度は指定管理者、低入札受注など5社を選定し調査しました。そのうち、雇用保険、社会保険の加入に関する項目において改善が必要とされた業者があり、是正改善実施計画書を提

問

学校給食における食物アレルギー対策の状況を伺います。

①児童生徒に対する実態調査の状況
②各学校での対応策
③食物アレルギーのガイドラインの策定状況

教育長

①毎年新入生を対象にアレルギーの実態調査を行い、対応給食希望者の把握を行ってまいります。アレルギー対応給食希望者に対し、医師の指示書、診断書

アレルギー対応給食について伺う

川上 幸博

の提出を求め、栄養教諭の聞き取り調査後、判定会にて対応給食の実施をしています。

②国、県の指導により対応していますが、発症した場合、迅速に救急車を手配し、到着までの間に的確な処置を行うようにしています。未然防止のため給食センター、学校、保護者が情報を共有し、連携をしていく必要があります。
③現在のアレルギー対応給食品目に合わせたものに見直し、対応ガイドラインを策定します。

議員自己紹介

今回から2回シリーズで議員紹介を掲載します。
(原稿は議員自身が執筆しています。)

◇掲載項目◇

議席番号、氏名(ふりがな)
住所、期数
会派名
趣味・特技
抱負



1 大谷 良治 (おおたに りょうじ)

出雲市平田町 1期
市民の会
スポーツ全般・車・読書

「人が主役の出雲をつくる」

市民感覚をまっすぐに届けること
現場主義を忘れることなく頑張っています。

そのためにも多くの人たちと出会い、知識と人脈をひろげ大きくなった出雲市の中で地域が抱える問題解決のために真摯に耳を傾け、市議会一体となり、より良い社会実現の為の架け橋となれるよう努めてまいります。



2 岸 道三 (きし みちぞう)

出雲市芦渡町 1期
市民の会
映画鑑賞・ジョギング

今日、加速的に少子高齢化が進み、人口減社会となっています。また、経済・景気の低迷と都市と地方との格差などにより特に若年層の市外・県外への流出が進んでいます。この出雲の地に愛着と誇りを持ち、ゆとり・豊かさが実感できる地域にしていくため、皆さんの声をしっかりと受け止め、活動していきます。



3 湯浅 啓史 (ゆあさ けいじ)

出雲市今市町 1期
政雲クラブ
鉱物収集・撮影

市議会議員には、地域ごとの問題を解決する力と市全体を見渡す視点が必要と感じています。そのために、「選択できる眼」「決断できる力」「聞き分ける耳」「はぐくむ心」をもって取り組みます。厳しい行財状況を打破するには思い切った決断が必要、「本当に市が行うべきか？」を徹底的に検証して行こうと思います。



4 神門 至 (かみかど いたる)

出雲市斐川町神氷 1期
市民の会
野球、相撲などのスポーツ観戦

私は、これまで農業、雇用、貧困問題など、仕事を通じてさまざまな諸問題に取り組んできました。その経験を生かし、「お年寄り(高齢者)に安心を！若者に希望を！子供たちに夢を！」与えられる政治。そして、情報公開などによる透明・公正な行政の実現をめざし、「未来に希望の持てる出雲市」を創造していきます。



5 寺本 淳一 (てらもと じゅんいち)

出雲市松寄下町 1期
真誠クラブ
野球観戦

このたび皆さまのご支援により、市議会議員選挙に当選させていただきました。これからは、「地域の声を大切に、誰もが安心して暮らせるまちづくりを！」をスローガンに、強い思いで、さまざまな課題に対し全力で行動してまいります。今後とも皆さまのご指導をよろしくお願い申し上げます。



6 渡部 勝 (わたなべ まさる)

出雲市佐田町大呂 1期 (旧佐田町議4期)
平成クラブ
旅行

出雲市の財政は極めて厳しい状況です。私たちが納めた税金が市民のために平等かつ公平に使われるようチェック機能を行って、行財政改革をいち早く進めていけるよう努力していく考えです。また昨年腎臓移植手術の体験から、病気で苦しんでいる人達のためにも移植医療の情報提供や、ドナーカードの普及に努めていきます。



7 福島 孝雄 (ふくしま たかお)

出雲市斐川町神庭 1期
公明党
家庭菜園

モットー「スピード感ある行動力で、庶民の身近にいる議員である事！」
「安心で元気な出雲市！」をめざし、常に庶民の中に入り、冷静な判断力で結果を出します。
◎福祉の充実・学校の施設充実・通学路の安全確保・いじめ対策
◎農業振興「攻めの農業」「担い手育成」「農業経営組織の充実」
1年生議員として謙虚に働きます。



8 原 正雄 (はら まさお)

出雲市神門町 1期
平成クラブ
趣味 庭園観賞 特技 料理

出雲市は、医療施設が充実し、空港、鉄道、高速道路があり、斐伊川・神戸川の宝の水もあり、農産物、海産物も豊富で、全国の神様まであつまるところ。本当に住み易いところです。人情豊かな、おだやかな、思いやりのある人ばかり、出雲大好きな新人議員でございます。出雲を大切にしたいものがございます。



9 大場 利信 (おおば としのぶ)

出雲市斐川町中洲 2期 (旧斐川町議1期)
政雲クラブ
中国語

一昨年の出雲市議会議員増員選挙(斐川選挙区)から数え2期目を迎えることになりました。向こう四年間、出雲市の発展・振興に向け、じっくりと腰を据え各種施策に取り組んでまいります。特に、少子高齢化対策、財政再建、地域経済の活性化は喫緊の課題であると認識いたしております。現場の状況や意見を大切にし、市民の皆さまや議員と連携し引き続きがんばりますのでよろしくお願いたします。



10 井原 優 (いばら ゆう)

出雲市斐川町莊原 2期 (旧斐川町議5期)
日本共産党
将棋、山歩き、野球、バスケットボール

貴重な議席をあたえていただきました。
いま、「国保料が高くて払えない」「子どもの医療費が大変」などくらしの願いは切実です。

私は、市民のみなさんの声を市政へ届け、福祉、くらしを充実へ、全力でがんばります。

- 国保料を1世帯あたり1万円引下げ
- 子ども医療費を中学校卒業まで無料に
- 生活バスなど、お年寄りの交通手段を確保
- 原発即時ゼロ・再生可能エネルギーの普及を



11 伊藤 繁満 (いとう しげみつ)

出雲市斐川町坂田 2期
真誠クラブ
ゴルフ、卓球、将棋など

誠は座右の銘。

三瓶山の麓から松江境まで62.4kmに及ぶ範囲は車で行き交うにも広く、どうしても中心部への関心が集まりやすい。長らく行政でお仕事をさせていただいた時も、今は議員の職にある時も常に「百聞は一見に如かず」と心がけ、現場主義を重要視してきました。広い範囲ですがどこへ行っても頼りになる人となるよう頑張りますのでよろしくお願いたします。



12 保科 孝充 (ほしな たかみつ)

出雲市斐川町求院 2期 (旧斐川町議1期)
平成クラブ
趣味 スポーツ(野球・バレー)、家庭菜園、藤沢周平・池波正太郎作の人情歴史小説読書
特技 ボウリング

こんにちは保科たかみつです。

高齢者・子育て中の皆さん・障がい者の皆さんなど比較的立場の弱い方々の支えになればと思います。若い方の働く場、斐川中央工業団地への企業誘致に努力し、出雲いりすの丘は農業の活性化に一役を担う再生を目指します。これからは世界を考えて行動する時代です。英語、IT教育の必要性を訴えます。頑張ります。



13 飯塚 俊之 (いづつか としゆき)

出雲市平田町 2期
真誠クラブ
野球、ゴルフ、読書

出雲市は、斐川町との合併で、大きな発展の礎を築くことになりました。

一方、財政状況は厳しく、行財政改革は避けて通れません。今は辛い時期であります。市民の皆さまや地域が情熱を発し続けていけるかが、さらなる活力や発展を遂げる大きな鍵になると考えています。

真価・進化が問われる4年、率先して行動してまいります。



14 板垣 成一 (いたがき せいじ)

出雲市佐田町須佐 2期
真誠クラブ
家庭菜園、ゴルフ

ここに生まれ育ち、縁があつてここで暮らし、ここで老いていくことの幸せが実感できる出雲市を目指し、全力で取り組みます。

《目標》

- ◎元気で魅力ある産業の振興
- ◎安全・安心なまちづくり
- ◎頼れる行政組織の確立
- ◎子育て支援と教育環境の充実
- ◎日本一の田舎づくり



15 小村 吉一 (おむら きちいち)

出雲市平田町 2期 (旧平田市議1期)
日本共産党
汽車の窓から山々や人々の暮らしを眺め、思いを巡らす「ひとり旅」「読書」

「皆さんの声を市政へ」「市政を皆さんの元へ」と、私は今まで懸命に歩んできたつもりです。

この度、皆さんのご支援で再び議会に送り出していただくことができました。「住民こそ主人公」の立場を貫き、「ひたすら、懸命に」歩み続けます。

皆さんの変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。



16 大国 陽介 (おおぐに ようすけ)

出雲市荒茅町 3期
日本共産党
趣味 庭いじり、メダカの飼育
特技 けん玉

「探しても仕事がない」「税や保険料が高くて払えない」「生きるだけで精一杯」、市民から寄せられる声です。「アベノミクス」ともてはやされる政府の経済対策ですが、庶民の元にその効果は及ばず、市民のくらしは大変です。今こそ、雇用や医療・介護、子育て、業者の仕事確保など、市民に役立つお金の使い方が求められます。力を合わせ「くらしと福祉を守る市政」実現に向け、全力で頑張ります。

番 号	大谷 良治	岸 道三	湯浅 啓史	神門 至	寺本 淳一	渡部 勝	福島 孝雄	原 正雄	大場 利信	井原 優	伊藤 繁満	保科 孝充	飯塚 俊之	板垣 成二	小村 吉一	大国 陽介	松村 豪人	遠藤 力一	萬代 輝正	板倉 一郎	多々納剛人	川上 幸博	福代 秀洋	板倉 明弘	勝部 順子	米山 広志	山代 裕始	宮本 享	長廻 利行	古福 康雅	珍部 全吾	坂根 守	
平成25年度(2013)第1回臨時会																																	
議第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除斥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
推第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
推第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
推第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長

平成25年度(2013)第2回定例会																																			
議第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第15号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第17号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第18号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
推第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
推第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長

○：賛成、●：反対、－：欠席・棄権、除斥：議案と一定の利害関係を有する議員は、採決の際に退席することとなっています。

番 号	議 案 名	審議結果	賛成	反対
平成25年度(2013)第1回臨時会				
議第1号	出雲市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
同第1号	出雲市副市長の選任について(伊藤 功氏)	同 意	31	0
同第2号	出雲市教育委員会委員の任命について(楨野信幸氏)	同 意	31	0
同第3号	出雲市監査委員の選任について(川上幸博氏)	同 意	30	0
承第1号	専決処分承認について(平成24年度(2012)出雲市一般会計第8回補正予算)	承 認	31	0
推第1号	出雲市農業委員会委員の推薦について(萬代輝正氏)	同 意	30	0
推第2号	出雲市農業委員会委員の推薦について(松村豪人氏)	同 意	30	0
推第3号	出雲市農業委員会委員の推薦について(板垣成二氏)	同 意	30	0

平成25年度(2013)第2回定例会				
議第2号	平成25年度(2013)出雲市一般会計第2回補正予算	原案可決	26	5
議第3号	平成25年度(2013)出雲市簡易水道事業特別会計第2回補正予算	原案可決	28	3
議第4号	平成25年度(2013)出雲市農業・漁業集落排水事業特別会計第2回補正予算	原案可決	31	0
議第5号	出雲市行財政改革審議会条例の一部を改正する条例	原案可決	27	4
議第6号	出雲市税条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第7号	地域の振興を促進するための固定資産税の課税免除等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第8号	出雲市都市計画税条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第9号	出雲市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第10号	出雲市移動通信用鉄塔施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第11号	出雲市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第12号	出雲市子ども・子育て会議条例	原案可決	31	0
議第13号	工事請負契約の締結について(四絡コミュニティセンター建築工事)	原案可決	31	0
議第14号	工事請負契約の締結について(旧庁舎解体工事)	原案可決	31	0
議第15号	工事請負契約の締結について(中部小学校屋内運動場改築建築工事)	原案可決	31	0
議第16号	財産の減額譲渡について(株式会社出雲総合卸売市場の株式)	原案可決	31	0
議第17号	市道路線の廃止について	原案可決	27	4
議第18号	工事請負契約の締結について((仮称)斐川中央工業団地造成工事)	原案可決	28	3
同第4号	出雲市教育委員会委員の任命について(本田恵子氏)	同 意	30	0
同第5号	出雲市公平委員会委員の選任について(野津建一氏)	同 意	30	0
同第6号	出雲市監査委員の選任について(周藤 滋氏)	同 意	30	0
同第7号	出雲市固定資産評価員の選任について(福間 浩氏)	同 意	30	0
諮第1号	人権擁護委員候補者につき意見を求めることについて(佐藤妙子氏)	同 意	30	0
推第4号	出雲市斐川町農業委員会委員の推薦について(伊藤繁満氏)	同 意	29	0
推第5号	出雲市斐川町農業委員会委員の推薦について(大場利信氏)	同 意	29	0
請願第1号	「消費税増税に反対する」意見書の採択を求める請願	不採択	28	3
請願第2号	乳幼児医療費助成制度を拡充し、窓口負担を中学校卒業まで無料にすることを求める請願	不採択	25	6
請願第3号	神戸川・来島ダムからの分水を中止し、豊かな森の水を湖と海に返すことを求める請願	趣旨採択	31	0
請願第4号	荘原小学校付近の通学路(市道斐川1558号線及び382号線)の歩道を整備し、児童生徒及び周辺住民の安心・安全の確保を求める請願	採 択	31	0
陳情第1号	自治基本条例制定に関し慎重な審議を求める陳情	継続審査	26	5

議会活動 (5月8日～8月10日に開催された会議)

- | | |
|---|--|
| 5月 8日(水) 全国自治体病院経営都市議会協議会
第71回理事会・第41回定期総会 | 4日(木) 全国市議会議長会 第192回理事会 |
| 20日(月) 議会運営委員会 | 5日(金) 出雲市農政議員連盟 |
| 22日(水) 全国市議会議長会 第89回定期総会
理事会 | 9日(火) 広報委員会 |
| 23日(木) 議会運営委員会、全員協議会 | 11日(木) 総務委員会・原子力発電・新エネルギー調
査特別委員会合同視察 |
| 27日(月) 市議会議員共済会 第106回代議員会
全員協議会 | 18日(木) 新内藤川・赤川対策協議会 |
| 29日(水) 理事会、広報委員会 | 19日(金) 環境経済委員会・神戸川発電用水検討協
議会合同視察 |
| 31日(金) 議会運営委員会、総務委員会協議会 | 22日(月) 広報委員会 |
| 6月 7日(金) 全員協議会、広報委員会 | 23日(火) 行財政改革特別委員会 |
| 10日(月) 理事会 | 29日(月) 広報委員会、建設水道委員会協議会 |
| 11日(火) 観光・企業支援調査特別委員会 | 30日(火) 議会運営委員会、全員協議会、国際交流
促進議員連盟総会 |
| 20日(木) 行財政改革特別委員会、原子力発電・新工
ネルギー調査特別委員会 | 31日(水) 環境経済委員会協議会 |
| 21日(金) 環境経済委員会協議会、全員協議会、商
工議員連盟、スポーツ振興議員連盟 | 8月 2日(金) 島根県市議会議長会議員研修会 |
| 24日(月) 総合交通対策特別委員会 | 6日(火) 森林・林産業対策協議会 |
| 25日(火) 広報委員会 | 8日(木)～10日(土)
観光・企業支援調査特別委員会行政視察 |
| 28日(金) | |
| 7月 2日(火) | |

今後の本会議の予定

平成25年度 9月定例会市議会 日程(案)

- | | |
|--------------------------------|----------------------------|
| 8月30日(金) 本会議(開会、議案上程・説明) | 17日(火) 建設水道委員会 |
| 9月 4日(水) 本会議(一般質問・1日目) | 18日(水) 予算特別委員会(1日目) |
| 5日(木) 本会議(一般質問・2日目) | 19日(木) 予算特別委員会(2日目) |
| 6日(金) 本会議(一般質問・3日目) | 20日(金) 決算特別委員会(1日目) |
| 9日(月) 本会議(一般質問・4日目、議案質疑、委員会付託) | 24日(火) 決算特別委員会(2日目) |
| 11日(水) 総務委員会 | 25日(水) 決算特別委員会(3日目) |
| 12日(木) 文教厚生委員会 | 26日(木) 決算特別委員会(4日目) |
| 13日(金) 環境経済委員会 | 30日(月) 本会議(委員長報告、討論、採決、閉会) |

※一般質問を行う議員数により9月9日の日程が6日に繰り上がることがあります。

編集後記

お盆を過ぎたとはいえ、暑い暑さが続きます。

出雲市議会の改選とともに、私たち広報委員会も新しい顔ぶれでスタートしました。

選挙後初の6月議会においても、施政方針質問や一般質問、常任委員会や特別委員会などで活発な議論が行われました。

この「いずも市議会だより」は、全国的にも珍しい議員自らの手作りによる議会誌として発行しています。

広報委員会といたしましても、市政の各種課題や市議会の情報を分かりやすく掲載し、市民の皆さまに親しみをもつて読んでいただける紙面づくりにもこれからの尽力していきます。

なお、今回から文字を大きくするなど紙面を一部変更しています。今後ともご愛読をよろしく願っています。

(広報委員長 大場利信 記)

議会に関するお問い合わせは

市議会だよりにお気づきの点がございましたらご意見をお寄せください。より充実した紙面づくりの参考とさせていただきます。

出雲市議会事務局

〒693-8530 出雲市今市町70

TEL : (0853) 21-6579 FAX : (0853) 21-6251
URL : <http://www.city.izumo.shimane.jp/gikai>
Eメール : gikai@city.izumo.shimane.jp/

広報委員会

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 大場利信 |
| 副委員長 | 渡部勝 |
| 委員 | 岸道三 |
| 委員 | 湯淺啓史 |
| 委員 | 神門至 |
| 委員 | 寺本淳一 |
| 委員 | 福島孝雄 |
| 委員 | 井原孝優 |
| 委員 | 伊藤繁満 |
| 委員 | 長廻利行 |
| 委員 | 福代秀洋 |
| 委員 | 坂根守 |



本誌は地球環境に優しい植物油インキを使用しております。